

大都市に於ては一時に数万人を動員し得ると説く。警察力の下にある吾が運動は、或はそれ不及ぶる道も、それに対する一応の準備はこれならばなり、殊にストライキ闘争等に於ては単なるイデオロギイの鳴り込め或は理突闘術等は最早効功を奏しない、従つて之等の表態的な闘術は清算され大衆動員に依る本格的闘術にそれでは代償されるべきである。勿論組織照ルンペンデモは吾等のとらざる所であるが犠牲を前提とする大衆デモを以てするの決意と用處がなければ將來の争議は断じて敗北である。此の故にこそ緻密な大衆動員組が橋面の如き正確さと明瞭さを以て計画されねばならぬ。

五、専門部行動方針

一 組織部

労働組合の発展を基礎とし、戦闘力を充実する為の行政部門の他の部門との協力の下に組合員大衆を組織化し訓練化するべきである。野口は此れをなすべからず、其の如き訓練と教育をもつてこそ組織は労働組合の基礎となる。特に資本の猛烈と闘争の激烈化に際しては大衆動員組織の躍進を期すべし。

一、組合の発展の爲に組合内デモクラシーの確保即ち組合内のありゆる場合に於て組合員の発意を重んじ組合員との合議の形を採り組合員大衆をして自分等が衛り育むべき団体であるとの意識を植付け幹部に対する依頼的弊害を除去する様常に指導部は努力す可きである。

二、日本現狀の如く圧倒的多数の労働者と未組織の労働者は、放任しほかに不平等の勝利を障害になるばかりではなく、労働者全体に対するブルジョアジーの搾取をより強行せしめる。故に日常下曲に此方未組織大衆の働く工場に組織の努力を押し可きである。特に一工場に争議の起りたる場合の如きその地方の工場労働者に対して其争議の起りたる場合の如きその地方の工場労働者に対してその争議を中心とする宣傳組織の運動を捲き起し一面には其の争議の勝利を確保し他面には未組織工場への働きかけの機会を造る事は重要である。

三、未組織大衆の中には一度は労働組合員たりし者も多数ある。其等労働者が労働組合に対する一種の恐怖の念と不信用の心を保持して居る。資本家側の反動政策に依存するもの、たゞなく、指導部が過去に於ける運動時に争議等に於ける